

団体名		公益財団法人武蔵野市子ども協会				
①	指標名	情報システム活用の拡充			目標値	情報システム活用による子育てサービスの向上
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	-	情報システム導入検討	情報システム導入	令和7年度に情報システムを導入し、活用を開始した。	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目			2(1) 市民福祉の向上に資する事業の実施		
	設定理由等	導入・更改を行ったシステムにより業務改善を行い、市民サービスの拡充を図る。 令和6年度に策定したシステム最適化計画により、各種システムの運用を進めるため。				
業務内容	取組	・子育て支援施設の入退館システム更新を行う。(O123施設、おもちゃのぐりりん、いこつと) ・学童クラブ利用者支援システム活用の拡充:連絡帳機能の検討と活用を行う。 ・プロポーザルを実施し、人事給与管理システム入替、公式ホームページ更改を行う。業務効率化システムを試行導入する。				
	内容					
②	指標名	老朽化した施設の改築・改修			目標値	施設の適正な維持管理と改築・改修計画に則した財源確保
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	資金計画について方向性の確認	財源確保のための新たな補助金活用	財源確保のための補助金活用	子ども協会施設の維持管理と今後のあり方について、市と検討を行った。	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目			1(2) 自律的経営の促進		
	設定理由等	建築後30年以上経過している千川・桜堤・東・境南第2保育園について、日常的な予防保全、設備更新等を行い、長寿命化を図るとともに、改築に向けての整備計画を策定する必要がある。				
財務内容	取組	・令和8年度改修工事設計及び監理等を実施する。 ・修繕計画の更新を行うとともに整備計画の策定の検討を行う。 ・東保育園建替え工事に向けての財源確保、建替えスケジュール他に関し、市と検討を進める。 ・財源の確保の一つとして、国・都補助などを活用した工事を行う。				
	内容					
③	指標名	誰もが働きやすい職場環境の整備			目標値	育児支援制度の拡充 支える側の職員への支援策の検討
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	期末手当における育児除算期間の見直し	出産・育児ハンドブックの改正	子の看護等休暇の拡大、育児時差勤務制度の導入	育児期の柔軟な働き方を実現するため、従来の育児短時間勤務制度に加えて、令和7年度より育児時差勤務制度を導入した。	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目			3(1) 人材の確保・育成と経営基盤強化		
	設定理由等	仕事と育児の両立や育児期の柔軟な働き方を実現するため、育児支援制度の充実が求められている。一方で、そうした制度の対象とならない職員の負担増が課題となっている。誰もが働きやすい職場環境を整備するため、職員の育児支援制度の充実を図るとともに、制度を利用する職員を支える側の職員への支援策を合わせて検討する必要がある。				
内部管理内容	取組	・育児短時間勤務制度の対象者の拡大を検討する。また、令和7年度に導入した育児時差勤務制度の利用向上を図る。 ・産育休や育児短時間勤務、病気休暇等、制度を利用する職員を支える側の職員に報いる施策を検討する。 ・職員双方の負担が過度とならないよう、業務分担や職員配置等必要な体制の整備に努める。				
	内容					